

# 衆議院外務委員会ニュース

平成 28.3.9 第 190 回国会第 2 号

3月9日（水）、第2回の委員会が開かれました。

## 1 浜地外務大臣政務官から就任の挨拶が行われました。

## 2 国際情勢に関する件

- ・岸田外務大臣、木原外務副大臣、若宮防衛副大臣、黄川田外務大臣政務官、江島国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 武正公一君（民維ク）

- ・いわゆる慰安婦問題について合意をみたにもかかわらず共同文書が作成されなかった昨年12月の日韓外相会談について岸田外務大臣はどのように評価しているのか。
- ・諸外国における日本海の呼称の最近の実態について政府はどのように把握をしているのか。
- ・尖閣諸島周辺海域における中国公船の最近の動向を踏まえ、海上保安庁による警備体制の更なる強化を図る必要があるのではないか。

### 篠原豪君（民維ク）

- ・政府は、4月に予定されるデビッド・ケイ「表現の自由」国連特別報告者の訪日の目的をどう認識し、同特別報告者による調査をどのようにサポートするのか。
- ・これまで我が国がアフリカ開発会議（TICAD）を通じて行ってきたアフリカ支援の成果について、政府はどのように評価しているのか。
- ・昨年4月に国際局を設置した横浜市など、地方自治体による積極的な自治体外交の取組について、政府はどのように評価しているのか。

### 吉良州司君（民維ク）

- ・シリア情勢に対して我が国が行う支援については、人道支援を中心とした非軍事的分野において進めていくという方針は今後も変更はないのか。
- ・ウルグアイのムヒカ大統領（当時）のリオデジャネイロ演説と米国大統領選挙に出馬中のバーニー・サンダース民主党議員の演説に共通するものは「ポスト成長」であると考えているが、こうした概念を我が国が議長国を務めるG7サミットでの議論に「ポスト成長」を盛り込むことについて、岸田外務大臣はどう考えるか。

- ・現在の我が国の外交方針では「基本的価値」が強調されているが、「基本的価値」を前面に出すことなく、我が国の特色である多様性を認める外交が重要であると考えているが、岸田外務大臣の所見を伺いたい。

### 笠井亮君（共産）

- ・タイ王国で行われている多国間共同訓練コブラ・ゴールドとは、どのような訓練なのか。何の目的で、何人の自衛隊員が参加するのか。
- ・コブラ・ゴールド16への自衛隊参加者数が前年の同15に比べ激増（約3倍）しているのは、昨年の平和安全法制成立に基づく海外任務拡大と関係があるのか。
- ・コブラ・ゴールド16では、自衛隊は法律上可能になった人質救出訓練等に参加しているのではないか。

### 丸山穂高君（おおさか）

- ・我が国における女性差別撤廃条約の実施状況に関する国連女性差別撤廃委員会による最終見解について岸田外務大臣はどのように評価しているのか。
- ・国連女性差別撤廃委員会による最終見解案に皇室典範に関する言及が盛り込まれ、政府の働きかけにより削除されたとの報道の真偽はいかがか。
- ・外務省内に設置されている国際テロ情報収集ユニットと国際情報統括官組織との役割分担はどのようになっているのか。

### 小熊慎司君（結集）

- ・アイスランド議会が採択した我が国との自由貿易協定に関する決議案について、政府の見解を伺う。
- ・本年、広島で開催されるG7外相会合の機会を、核軍縮の取組において具体的にどう活用するのか。
- ・福島県産の米と野菜は使っていない旨をポスターやウェブサイトにおいて発表した香港吉野屋に対し、外務省は

どのように対応したのか。

### **玉 城 デニー君（生活）**

- ・ 普天間飛行場代替施設建設に係る代執行訴訟について、政府が和解案を受け入れた理由は何か。
- ・ 政府が代執行訴訟の和解案を受け入れた3日後に国土交通大臣が翁長沖縄県知事に是正指示を出したことは、和

解の意義を否定することになるのではないか。

- ・ 翁長沖縄県知事等が普天間飛行場代替施設建設に反対する中、同代替施設に関する政治的持続性は担保されると政府は考えているのか。

### **3 在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第23号）**

- ・ 岸田外務大臣から提案理由の説明を聴取しました。